

令和7年度

高知県ひきこもりの人等に対する支援のあり方に関する検討委員会 議事概要

日時：令和8年2月2日（月）13：30～15：30

場所：高知会館 3階「飛鳥」

出席委員：12名（別添「出席者名簿」のとおり）

事務局：23名（別添「出席者名簿」のとおり）

議 事：

1. 開会
2. 議事
 - (1) 県、ブロック域、市町村の取組状況について
 - (2) ひきこもり地域支援センターの取組について
 - (3) 事例発表
 - (4) その他
3. 閉会

【1. 開会】

- ・開会挨拶（子ども・福祉政策副部長）

【2. 議事】

(1) 県、ブロック域、市町村の取組状況について

■説明

- ・地域福祉政策課（資料1、2、3-1、3-2）

(2) ひきこもり地域支援センターの取組について

■説明

- ・ひきこもり地域支援センター

内容：ひきこもり地域支援センターのこれまでの取組や、高知県でのひきこもり支援の現状について説明。

(3) 事例発表

■説明

- ・須崎市健康推進課

内容：須崎市のひきこもり等支援プラットフォームの概要や具体的な取組事例をもとに説明。

- ・青い空ぼっこふう～ん

内容：青い空ぼっこふう～んの取組内容や、関係機関との連携について説明。

(4) その他

●委員

・ひきこもりの場合は、生きづらさやしんどさを理解してくれる人が身近にいることが重要だと思う。

・「居場所」は場所が重要なのではなく、「人」であるという考え方が当事者の中で少しずつ広がり始めている。

・支援する側、支援される側を意識して一生懸命やってきた時に限って成果が出ないことに支援の難しさを感じる。

●委員

・県においては、発達障害者支援・ひきこもりの人等に対する支援も着実に進んできていると思うが、今後は市町村へ展開していくことが重要。

・地域の実情を把握している市町村職員が、地域で困っている人を支援することが必須になってくると思うが、職員の専門性や高齢化など人材面で課題もあると思うので、本日議題に上がった内容を参考に取組んで欲しい。

【3. 開会】